

甲突川千本桜再生プロジェクトの素案に係るパブリックコメント手続の意見及び対応状況一覧

1. 意見の募集期間

令和7年8月14日（木）～令和7年9月22日（月）

2. 意見の提出者数（件数）

14人（70件）

3. 意見の対応状況

（単位：件）

項目 対応区分	1 『再整備の コンセプト』 について	2 『再整備の イメージ』 について	3 『再整備の スケジュール』 について	4 『今後の展開』 について	5 その他について	計
A 意見の趣旨等を反映し、 計画に盛り込むもの	0	0	0	1	0	1
B 意見の趣旨等は、計画（素案）に 盛り込み済みのもの	13	8	2	2	4	29
C 計画に盛り込まないもの	0	0	1	1	0	2
D 具体的な事業の実施にあたり 参考とするもの	3	7	1	1	2	14
E その他要望・意見等	2	5	5	4	8	24
計	18	20	9	9	14	70

パブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について（令和7年8月14日～令和7年9月22日実施）

項目	意見等の概要		対応区分
	項目	対応区分	
1	『1. 第3章 再整備のコンセプト』について 2 『2. 第4章 再整備のイメージ』について 3 『3. 第5章 再整備のスケジュール』について 4 『4. 第6章 今後の展開』について 5 その他	A 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの B 意見の趣旨等は、計画（素案）に盛り込み済みのもの C 計画に盛り込まないもの D 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの E その他要望・意見等	
1	「にぎわい」と「憩い」という訪れた人々の心を前向きにする空間の持続的な創出に惹かれました。地域の人々や子どもたち、観光者にとって、日常とは異なる特別な場所のイメージを持たせることができると期待されると感じた一方で、写真スポットや公園の整備、千本桜を楽しむための取り組みも重要だと感じました。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P19、21に記載の通り、写真スポットや公園の整備については、河川空間や眺望を活かした桜の再配置等を行うほか、新たな遊具の整備や夜間景観の充実に取り組むこととしております。また、全体版P36に記載の通り、千本桜を楽しむための取組については、桜のワークショップの開催や、桜のイベントの開催等を検討するほか、SNS等を活用し、千本桜の歴史や保全活動等の情報を広く発信することで、千本桜への興味・関心を高めていくこととしております。	B
2	急速な少子高齢化時代を迎え、今後財源的にも厳しくなることが予想されるため、民間活力も誘導するような計画を期待します。	ご意見については、全体版P20の「施策6 民間活力導入の検討」に記載の通り、利便性や緑地空間の質の向上、にぎわい形成や交流促進を図るため、PPPやPark-PFIなどの制度を活用した民間活力の導入を検討することとしております。	B
3	P22〔施策12〕「桜守活動」は、具体的にどのような活動か。	ご意見については、全体版P37の「参考資料（用語解説）」に記載の通り、桜の維持・保全を目的として、地域住民が施肥や清掃、病害虫対策などを行うボランティア活動のことです。	B
4	P22〔施策12〕「普及啓発活動」は、具体的にどのような活動か。	ご意見については、全体版P36の「■千本桜や甲突川河畔に対する愛着醸成への取組」に記載の通り、桜のワークショップの開催や桜のイベントの開催等を検討するほか、SNS等を活用し、千本桜の歴史や保全活動等の情報を広く発信することで、千本桜への興味・関心を高め、地域全体で千本桜を守っていく意識向上を図ることとしております。 また、甲突川河畔のオープンスペースを活用したイベントの開催や水辺空間を活かした様々なアクティビティの実施など、甲突川河畔の利用促進に向けた普及啓発を推進し、更なる愛着醸成を図ることとしております。	B

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
5	I	自宅近くが甲突川ゾーンなので、散歩の際に木々の老朽化や雰囲気の悪化は気になっていた。今後が非常に期待できる内容だった。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P18の「老木化が進行した桜や生育不良な桜の植替」に記載の通り、老木化が進行した桜や生育不良と診断された桜については、必要に応じて植替を実施し、緑地内の安全性を確保するとともに、桜並木としての魅力を創出することとしております。	B
6	I	いいと思う	賛同のご意見として承り、プロジェクトの策定・推進に取り組みます。	E
7	I	西田橋から平田橋の通りは人通りが少なく、木市の盛り上がりも年々減ってきていると感じます。歴史ある西田橋や平田橋周辺が盛り上がっててくれる嬉しいです。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P23の「4-1 ゾーニング」に記載の通り、平田橋～高見橋区間につきましては、「さくら舞うにぎわい交流ゾーン」として、新たに桜スポットを整備するほか、カフェなどの集客施設等の整備を含めた民間活力の導入を検討し、年間を通じて多くの人々で賑わう”活気あふれるにぎわい空間”の創出を目指すこととしております。	B
8	I	古くから市民に親しまれ歴史ある木市が近年、縮小傾向にあります水害の歴史等を学んだり幅広い年代の方々が西田橋から平田橋の広場を普段から利用しやすく足を延ばしてもらえるようなカフェや施設が出来るとよいと思います	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P23の「4-1 ゾーニング」に記載の通り、平田橋～高見橋区間につきましては、「さくら舞うにぎわい交流ゾーン」として、新たに桜スポットを整備するほか、カフェなどの集客施設等の整備を含めた民間活力の導入を検討し、年間を通じて多くの人々で賑わう”活気あふれるにぎわい空間”の創出を目指すこととしております。	B
9	I	以前は、春の木市、秋の木市も、3列の通路があり、駄菓子屋、金物屋、動物、お好み焼きや、団子や、飴屋、と多様にたくさん出店され賑やかでした。現状はさんさんとしていると思います。木市以外にも、いろいろなイベント、お祭り、火、鯉のつかみ取りなど思い出します。 桜の花を見ながら歩くことは健康寿命を伸ばすことにもなるため、環境が整えば、歩く、見る、休む、飲む、食べると人も集まりやすくなると思います。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P16の「3-1 基本理念」に記載の通り、市民の方々や観光客の方々がより魅力を感じていただけるよう、新たな桜の名所として、将来にわたり魅力的な空間を創出するとともに、活気あふれるにぎわい空間や心休まる憩い空間を創出することで、まち全体の魅力向上へ繋げることを目指すこととしております。	B
10	I	基本施策は、住民である鹿児島市民向けとなっています。もちろん、鹿児島市がおこなう事業ですからその方針は重要ですが、基本方針2においては、住民だけではなく、観光客などの来訪者への対応を考慮した内容とすることも重要ではないかと思われます。	ご意見については、全体版P16の「3-1 基本理念」に記載の通り、本プロジェクトは、千本桜の再生を行い、将来にわたり魅力的な空間を創出するとともに、活気あふれるにぎわい空間や心休まる憩い空間を創出することで、甲突川河畔を軸に人々の回遊性を向上させ、まち全体への活力向上へ繋げることを目指しており、市内外問わず、多くの人々に訪れていただけるような新たな桜の名所作りを目指すこととしております。	B

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
11	I	バリアフリーで、安心して行ける憩いの場。専門家の意見を聞きながら。	ご意見については、全体版P21の「施策8 利用者ニーズや安全性に配慮した緑地の整備」に記載の通り、安全性や利便性の確保に努めながら、老朽化した園路やベンチ・東屋など緑地の整備を進めていくこととしております。	B
12	I	桜の木が川に沿ってひろがっていく、今の状態を後世にも残し、自然の魅力、ほっとする心を大切にしていければと思う。 桜並木を守るために市民でできること、ボランティアなどの機会があれば親子で参加したい。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P35の「第6章 今後の展開」に記載の通り、樹木の維持管理や除草・清掃等を行うボランティア活動のほか、地域の方々と連携し、日常的に桜を見守り、保全活動を行う「桜守活動」など、地域で気軽に参画できる仕組みづくりを検討することとしております。	B
13	I	白花の早咲きの暖流を市民ボランティアで育てながら、市民ができる形で維持・管理を行い、一足早い桜観光にも役立てる。国内で最も南で咲く白八重の暖流は温暖化に伴う従来の桜とは違い、発見し、普及に努めてきた美園先生の意志を活かし、市民の誇りにしたい。	ご意見については、全体版P35の「第6章 今後の展開」に記載の通り、持続可能な保全管理体制の構築として、日常的に桜を見守り、保全活動を行う「桜守活動」など、地域で気軽に参画できる仕組みづくりの検討を行うこととしております。	B
14	I	P20「施策7」いつでも訪れたくなる高質空間の創出の文中へ、新たに、ツツジ、モミジを明記した方がよい。 ツツジは2,000本位、モミジは500本位植栽すると四季の花など観賞できると思う。	ご意見については、今後具体的な取組を進める中で参考とさせていただきます。 なお、四季を彩る植栽の種類につきましては、今後、基本設計等を実施する中で、検討することとしております。（全体版P20）	D
15	I	現在高見橋南側でリヤカー屋台が賑わっていますが、明るい雰囲気で活気も感じ、とても良いように思います。お店を出しやすい区画や、上下水道、電気といったインフラが整備されると、更に利用の可能性が広がると思います。	ご意見については、今後関係部局と連携を図り、具体的な取組を進める中で参考とさせていただきます。 なお、当該箇所は人通りも多く、多くの来訪者が見込まれることから、「千本桜メイン空間」として位置づけ、桜を最も堪能できる魅力的な滞留空間を創出するほか、隣接地で予定されている「加治屋町1番街区市街地再開発事業」と連携を図り、更なる魅力向上を図ることとしております。（全体版P26）	D
16	I	P22【施策12】ガバメントクラウドファンディングや桜オーナー制度の活用は可能か。	ご意見については、他都市において、活用の事例がある事から、他都市の事例等を参考に検討を進めることとしております。	D
17	I	P21【施策9】「桜の植替により、CO ₂ 吸収機能を向上させる」とあるが、どの程度可能か。	ご意見については、本プロジェクトは、千本桜の再生等に向けた基本的な考え方を示したものであり、具体的なCO ₂ 吸収量の算出を行っていませんが、今後、基本設計等を行う中で、環境省作成の「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（算定手法編）」に基づき、具体的な数値を算出することとしております。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
18	1	P22【施策10】「本市の気候風土や土壤環境等に適した維持管理の方法や保全方法」とあるが、具体的にどのような方法か。	ご意見については、全体版P35の「(1)千本桜保全管理計画の作成」に記載の通り、千本桜を適切な環境下で育み、次世代へ引き継ぐため、専門機関と連携を図り、桜の維持・保全に必要な剪定方法や病害虫対策・植栽基盤の改善方法、保全に向けた年次管理計画等を定めた、本市独自の「千本桜保全管理計画」を今後検討することとしております。	B
19	2	どのイメージも季節を感じて、市民の自然との触れ合いを促進するものになると考えます。 そして、品種がエリアごとに異なることも、プロジェクトの大きな強みになると感じるため、市民へエリアごとの品種をアピールすると、品種ごとの違いに興味を持つ人も増え、よりにぎわいのある千本桜プロジェクトの成果になりそうだと感じました。特に緑と桜と桜島が融合するエリアについて、鳥瞰パースのように見える場所を、広報でアピールすることで、鹿児島の自然に興味を持つ人の増加と共にIターンやUターンの効果も期待できると感じました。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P36の「■甲突川河畔を軸とした回遊性の向上、周辺環境への波及」に記載の通り、エリアごとの品種のアピールや鳥瞰パースのように見える場所の広報によるアピールについては、再整備後の甲突川河畔の利用促進に向け、SNSや地域メディア等を活用し、甲突川河畔の魅力を市内外へ積極的に発信するなど、多様なプロモーションを展開することで、多くの観光客を誘致し、甲突川河畔のにぎわい創出を図ることとしております。	B
20	2	計画にあるような多様な種の桜の植栽や桜以外の季節の変化を感じられるような植物もあると、年間を通じ利用してみたいと思います。	賛同のご意見として賜ります。 なお、全体版P24、25の「4-2 全エリア共通の整備方針」に記載の通り、上流から下流にかけて、開花時期の異なる桜の品種を配植するほか、イチヨウなど四季を彩る既存樹は活かしながら、新たにアジサイやサルスベリといった四季を彩る植物を要所に配置し、年間を通じて魅力的な空間の創出を図ることとしております。	B
21	2	このイメージで良いと思います。	賛同のご意見として承り、プロジェクトの策定・推進に取り組みます。	E
22	2	子供がいるので、わくわくゾーンには期待が高まった。わくわくゾーン近辺は城南小や八幡小の校区なので、完成の際は大いににぎわうと思う。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P23の「4-1 ゾーニング」に記載の通り、さくらと遊びのわくわくゾーンにおいては、桜の整備に合わせ、こども向け遊具や大人向けの健康遊具、親水施設などの「アクティビティ関連施設」の整備を検討し、桜の中で、誰もがわくわく楽しめる“アクティビティ空間”的な創出を目指すこととしております。	B
23	2	問題無いと思う	賛同のご意見として承り、プロジェクトの策定・推進に取り組みます。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
24	2	ひとの流れが豊かになることが期待出来そうです。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P16の「3-1 基本理念」に記載の通り、千本桜の再生を行い、将来にわたり魅力的な空間を創出するとともに、活気あふれるにぎわい空間や心休まる憩い空間を創出することで、甲突川河畔を軸に人々の回遊性を向上させ、まち全体への活力向上へ繋げることを目指しております。	B
25	2	とても良いと思います。	賛同のご意見として承り、プロジェクトの策定・推進に取り組みます。	E
26	2	植え替えるという事でしたら、曇り空でも映える様に、白いよりピンクがかった花色が良いかと。春夏秋冬常に楽しめる花も欲しい。	ご意見については、全体版P25に記載の通り、様々な花色の桜を鑑賞できるように、多品種の導入を検討しているほか、桜以外の時期も緑地を楽しめるように、四季を彩る植物の植栽を検討し、年間を通じて魅力的な空間の創出を図ることとしております。	B
27	2	運動出来る鉄棒や、何か健康につながるもの設置。	ご意見については、全体版P23の「第4章 再整備のイメージ」に記載の通り、「さくらと遊びのわくわくゾーン」を中心に、大人向け健康遊具を含むアクティビティ関連施設の整備を検討しております。	B
28	2	案にあったようなカフェや集客を考えた桜のトンネルは確かに素敵な案ではあるが、建物を建てる、人工的な自然をつくるのは疑問に思う。何も考えず、ただ自然の中にある自分をゆったりと味わう時間は今後、ますます貴重になるかと思うからである。景観を守るための資金面の一部にカフェ等の売り上げも使われる見込みで考えられたのかなと思うと、その観点からしたら確かに必要かもしれないが…。 ただ、夜間の照明は治安を守ったり、安全面に配慮することから大切であると思う。	ご意見については、全体版P23の「第4章 再整備のイメージ」に記載の通り、上流側の「さくら舞うにぎわい交流ゾーン」及び、下流側の「さくらと遊びのわくわくゾーン」では、集客施設やアクティビティ関連施設など建物の設置を検討しておりますが、「さくらとみどりの憩いゾーン」では、自然の中でゆったりとした時間を過ごせるように、既存の緑地風景を活かしながら、憩い空間の創出を図るなど、ゾーンごとに特色を分け、整備を進めることとしております。 また、夜間照明につきましては、全体版P21「施策8」に記載の通り、夜間照明の整備を進め、安全性の向上に努めることとしております。	B
29	2	開花時期が2月からの暖流により、長期化のゾーンができ、南国に適した品種を鹿児島から暖流の流れに乗せて、桜前線の出発点に。又、観光資源にも。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P19の「開花時期の異なる様々な品種の桜の導入」に記載の通り、開花期の異なる様々な品種の桜を導入し、早春から晩春までの長期間において、お花見を楽しめる魅力的な空間を演出します。 なお、導入する品種につきましては、今後の検討を踏まえ、選定することとしております。	B
30	2	P25 四季を彩る植物の植栽に桜の品種により（2月～4月）、アジサイ（6月～7月）、サルスベリ（7月～8月）、イチョウ（11月）が見頃ですが、新たに真っ赤な花のツツジゾーン（4月～5月）や、紅葉すると黄色、朱色、赤色のモミジ（12月～1月）を新たに植栽すると甲突川ゾーンが1年中楽しめる場所になると思う。	ご意見については、今後具体的な取組を進める中で参考とさせていただきます。 なお、四季を彩る植栽の種類につきましては、今後、基本設計等を実施する中で、検討することとしております。（全体版P25）	D

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
31	2	P23「ゾーニング」において、動線計画はどのようにになっているか。例えば、車の動線、人の動線、管理車の動線など。	ご意見については、本プロジェクトは千本桜の再生等に向けた基本的な考え方を示したものであることから、今後、基本設計や実施設計を行う中で人の動線や管理者の動線等について、検討することとしております。	D
32	2	P26,28,31 現況施設の存置、施設の改修について、より具体的な基本計画図が必要である。	ご意見として承ります。 なお、本プロジェクトは、千本桜の再生等に向けた基本的な考え方を示したものであり、施設の改修などの具体的な整備内容については、今後行う基本設計の中で検討することとしております。	D
33	2	知り合いの植物関係の研究者と話しましたが、以下のような懸念があります。 間引きと適正な間隔（概ね6～8m）で植栽は、従来よりも1本あたりのスペースを広げることを意味しますが、施策3の「桜の植栽本数を増やす」はこれに矛盾するのではないかでしょうか。なお、概ね6～8mの間隔は、関東の‘染井吉野’では適切な数字ですが、鹿児島では成長が悪いためにもっと狭くてもよいのではないかでしょうか。	ご意見については、本プロジェクトでは、桜以外の既存樹木を間引くことで、空いたスペースに桜を新たに植栽し、本数を増やすことを想定しております。 また、植栽間隔につきましては、桜の生育環境を整え、大きな成長を促すため、適正間隔である6～8mで植え付けていくこととしております。 なお、具体的な植栽間隔については、基本設計を進める中で検討いたします。（全体版P24）	D
34	2	桜の品種に関する整備において、「専門機関や関係機関に意見を伺いながら、他品種への転換を検討します」としていますが、現実には将来の鹿児島市の環境に適したサクラの種類は、流通していないため、その選定は難しいのではないかでしょうか。特に桜スポットの整備の八重桜の並木道は、生育するか心配です。また、計画の中には樹種転換の検討と整合しない部分があります。	ご意見については、今後具体的な取組を進める中で参考とさせていただきます。 なお、導入する品種につきましては、随時、専門機関や関係機関に意見を伺いながら、鹿児島市の環境に適した品種の選定に加え、市場性等を確認した上で決定していくこととしております。（全体版P19）	D
35	2	雨庭や透水性舗装の導入は、植栽木に対する環境改善の効果が期待されますが、甲突川河畔がシラスという特殊な地質環境であることから、適切な手法であるのか、植栽基盤の改善を含め、詳細な検討が必要です。シラスは排水性が悪いため、これらの手法を用いることで、部分的な帶水や土砂流出を生じる可能性が懸念されます。	ご意見については、今後具体的な取組を進める中で参考とさせていただきます。 なお、今後、基本設計等を行う中で、本緑地に適切な手法について、具体的に検討を進めることとしております。	D
36	2	サクラ以外の樹木の植栽については、甲突川河畔という地域性を考慮する必要があるのではないかでしょうか。アジサイが甲突川河畔で健全に育つか心配です。サクラの種類を含めて地域に適した樹木を利用することが、健全な緑地空間の維持には必要で、来訪者へ鹿児島市の魅力を伝えることにもつながるのではないかと思います。	ご意見については、今後具体的な取組を進める中で参考とさせていただきます。 なお、植栽例として挙げているアジサイやサルスベリは、鹿児島市内の公園等において植栽実績があり、生育も良好であることから導入を検討しております。 また、植栽する際は土壌改良等を行い、適切な生育環境を整えた上で植栽を進めていくこととしております。	D

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
37	2	P25「桜の品種マップ」において、3ゾーンの導入品種となっているが、開花期間が異なるため、一斉に見れない。P33鳥瞰パースとの相違。	ご意見については、当該パース図で描いている区間は、3～4月咲き及び4月咲きの桜の品種を植栽することとしており、4月頃の開花が最も揃った時期のイメージ図として作成しております。	E
38	2	トイレは、何処にあるか判らないぐらい、目に付かない様に（案内板は判りやすく）	ご意見として承ります。	E
39	3	市民の関心が継続的に寄せられ、改善が実感できるようにスケジュールし、それに合わせたイベントなども行いつつ、着実に進めていただきたいと思います。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P36の「(1)千本桜に対する愛着醸成の取組」に記載の通り、再整備と併せて展開すべき主な取組として、桜のイベントの開催等を検討し、千本桜に関する普及啓発に努めることとしております。	B
40	3	P34整備スケジュールを提示してほしい。	ご意見については、全体版P34の「第5章 再整備のスケジュール」に記載の通り、ゾーンごとに整備を進めていくこととしております。	B
41	3	問題無いと思う	賛同のご意見として承り、プロジェクトの策定・推進に取り組みます。	E
42	3	早急に進むとよいと思います。	賛同のご意見として承り、プロジェクトの策定・推進に取り組みます。	E
43	3	「本計画を令和8年度～令和13年度の6年間とします。」を記載し、「財政状況や計画の進捗状況により変更する場合もある旨」を示した方が理解できる。	「第5章 再整備のスケジュール」に示すスケジュールは、概ねの見通しを示したものであり、今後の財政状況や事業の進捗等を踏まえ、適宜見直しを行うこととしていることから、素案の通りといたします。（全体版P34）	C
44	3	P34財源（コスト計画）を提示してほしい。 (財源がなければ「絵にかいたもち」になり易く、継続しない)	ご意見として承ります。 本プロジェクトは、千本桜の再生等に向けた基本的な考え方を示したものであり、今後、基本設計や実施設計を行う中で、詳細なコストを算出し、予算の確保に努めることとしております。 なお、財源確保への取組として、ガバメントクラウドファンディングやふるさと納税制度の活用、桜オーナー制度の確立など、多様な方法による財源確保に向けた体制づくりを検討することとしております。（全体版P35）	D
45	3	6章で示している「千本桜保全管理計画」を作ったうえで、基本設計をおこなった方がよいかと思います。保全管理計画を示したうえで、個別の設計を進めるべきかと思われます。	ご意見として承ります。 なお、千本桜保全管理計画については、桜の植栽後の維持管理に必要な剪定方法などを定めることとしており、まずは再整備に向けた基本設計や実施設計等を進めることとしております。（全体版P35）	E
46	3	現在、植えるべき苗木が流通していないことから、苗木つくりを含めたスケジュールが必要ではないでしょうか。	ご意見として承ります。 なお、本プロジェクトに記載している品種は、参考例であり、導入する品種については、市場性も含め検討を行い、選定することとしております。（全体版P19、25）	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
47	3	グリーンファーム、環境未来館との協働で、緑の創生を市民ボランティアで、暖流の接木、移植を行ってきており、接木として3年で開花の実践の結果、令和12年には植樹可能。	ご意見として承ります。	E
48	4	地域で一体化して、千本桜を守り育てることは、個別化した現代の中で会話のきっかけになり、人と人のつながりも守り育まれると考えました。その一方で、少子高齢化のなかでは、千本桜を守り育てる人材不足が懸念されると考え、資料の中でも35ページに人材不足が懸念されるとの言葉がありました。そのため、地域の人々の協力とともに、専門的な知識を持つ人材の育成や獲得についても、検討することが今後必要になると考えました。	ご意見の趣旨を踏まえ、全体版P22の「施策10」及びP35の「■千本桜を育み、守り育てるしくみづくり」において、「桜千本桜の維持・保全を担う専門的な人材の育成」に関する文言を追加いたします。	A
49	4	頑張ってもらいたい。	賛同のご意見として承り、プロジェクトの策定・推進に取り組みます。	E
50	4	期待して待っています。	賛同のご意見として承り、プロジェクトの策定・推進に取り組みます。	E
51	4	計画と管理体制の構築は、こうした緑地管理をおこなう上で、きわめて重要な要素で、それぞれが対応した内容となっている必要があります。これらは再整備の枠の中に盛り組んだ方がよいのではないかでしょうか。	ご意見については、全体版P35の「■千本桜を育み、守り続ける仕組みづくり」に記載のとおり、再整備と併せて展開すべき主な取組として、「(1)千本桜保全管理計画の作成」や「(2)持続可能な保全管理体制の構築等」に取り組むこととしております。	B
52	4	移植後、市民ボランティアや地域全体で市民がつくる桜並木といった意識の向上、愛着を育む。又、気軽に参画できる桜の学習、接木の研修で、より一層、千本桜への関心、ひいては、鹿児島の自然への誇りも産まれる。	ご意見については、全体版P36の「第6章 今後の展開」に記載の通り、千本桜に対する愛着醸成への取組として、「桜守活動」の推進、桜のワークショップやイベントの開催に加え、千本桜の歴史や保全活動等の情報を広く発信することで、千本桜への興味・関心を高め、地域全体で千本桜を守っていく意識向上を図ることとしております。	B
53	4	今後の計画の進行管理について、全体計画をわかりやすいPDCAサイクル推進図として掲載した方がより理解できると思う。	本プロジェクトは、今後行う基本設計や実施設計の基となる基本的な考え方を示したものであり、PDCAサイクルによる見直しを行うものではないことから、素案の通りとします。	C
54	4	観光者や訪れる人に千本桜への愛着を持たせるために、日本語とともに外国語でも、千本桜のエリアに説明を示す看板をたて、愛着を持たせるように働きかけることも良いと思います。	ご意見については、今後具体的な取組を進める中で参考とさせていただきます。 なお、千本桜への愛着醸成については、桜のワークショップや桜のイベント等の開催を検討するほか、SNSなどを活用した千本桜の歴史等の情報発信などに取り組むこととしております。（全体版P36）	D
55	4	豪雨等による水害を危惧しています。せっかくの取り組みが水に流れて残念な結果にならないように、安全確実に進めていただければと思います。	ご意見として承ります。 なお、緑地部の対策としては、雨水を一時的に貯留し流出抑制等に寄与する「レインガーデン（雨庭）」や「透水性舗装」などのグリーンインフラの導入を検討することとしております。（全体版P21）	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
56	4	P36 各取組について、更に具体的に提示してほしい。	ご意見として承ります。 なお、本プロジェクトは、千本桜の再生等に向けた基本的な考え方を示したものであり、各取組の内容は、現時点で想定されるものをお示ししております、具体的な内容については、今後事業を進める中で、検討していくこととしております。	E
57	5	桜の生育不良が進行していることに驚きました。実際に、私自身、春には桜に注目しますが、春以外にはあまり注目していなかったことから、桜の生育不良に気づけていなかったのだと思いました。そのため、1年を通して桜への注目を地域全体で高めるようにすると、市民の愛着度や注目も高まり、地域全体で生育不良について対処できるのではないかと考えました。	ご意見については、全体版P36の「(1) 千本桜に対する愛着醸成への取組」に記載の通り、千本桜に対する愛着醸成の取組として、桜のワークショップや桜のイベントの開催等を検討し、千本桜への普及啓発に努めるほか、SNSなどを活用し、千本桜の保全活動等の情報を広く発信することで、千本桜への興味・関心を高め、地域全体で千本桜を守っていく意識向上を図ることとしております。	B
58	5	住んでいる人も、観光の人も、より魅力を感じる街づくりを期待しています。	賛同のご意見として承ります。 なお、全体版P16の「3-1 基本理念」に記載の通り、市民の方々や観光客の方々がより魅力を感じていただけるよう、新たな桜の名所として、将来にわたり魅力的な空間を創出するとともに、活気あふれるにぎわい空間や心休まる憩い空間を創出することで、まち全体の魅力向上へ繋げることを目指すこととしております。	B
59	5	「民間活動の導入」の検討は、具体的にどこに、どのような施設を配置するか。	ご意見については、全体版P23の「4-1 ゾーニング」に記載の通り、上流部の「さくら舞うにぎわい交流ゾーン」及び、下流部の「さくらと遊びのわくわくゾーン」において、検討を進めることとしております。また、具体的な施設や配置等については、今後サウンディング型市場調査等を実施する中で、検討することとしております。	B
60	5	桜島の景観をどのように活かすか。	ご意見については、全体版P18の「施策3 河川空間や眺望を活かした桜の再配置と充実」に記載の通り、桜島・甲突川との景観を意識した桜の再配置を行い、甲突川河畔の立地を活かした桜の演出を充実させ、魅力的な空間を整備することとしております。	B
61	5	加治屋の杜公園には幼児をつれた親子づれが多く訪れています。これらの親子づれが千本桜再生プロジェクトの計画地にも導かれてくると、高齢者と幼児のふれあいの機会も増え、楽しみな空間になっていくのではと思います。	ご意見については、今後具体的な取組を進める中で参考とさせていただきます。 なお、全体版P16の「3-1 基本理念」に記載の通り、千本桜の再生や新たににぎわい施設の整備などにより活気あふれるにぎわい空間や心休まる憩い空間を創出することで、甲突川河畔を軸に人々の回遊性を向上させ、まち全体への活力向上へ繋げることを目指すこととしています。	D

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
62	5	現状認識に関して、植栽木の診断を行っていますが、植栽基盤や気温など環境による影響に対する評価がみあたりません。今後の保全管理計画を作成するうえで、これらの評価はきわめて重要なので、もし、評価をしていないのであれば、評価を実施するべきではないでしょうか。	全体版P24「第4章 再整備のイメージ」に記載の通り、土壤診断を実施し、診断結果に基づき適切な土壤改良を行うこととしております。 なお、保全管理計画につきましては、土壤診断の結果等を踏まえ、検討してまいります。	D
63	5	P6～P8、P26、P28、P31の中で、常緑樹と落葉樹の緑色の図示が同じように見えるため、緑色と他の色にした方がよいと思う。	ご意見の趣旨を踏まえ、全体版P6～8の「2-3 甲突川河畔及び周辺の現況」及び、全体版P26、28、31の「4-3 各エリアの整備方針」の図に示す常緑樹や落葉樹の表記方法を変更します。	E
64	5	P12課題2-1の樹木の大木化による緑地内や周辺環境への影響の5行目の文言にあるように、クスノキは全て伐採した方がよいと思う。	ご意見として承ります。 なお、生育不良となった樹木や密植状態の樹木、大木化した樹木や健全な生育を妨げる樹木については、必要に応じて間引きや再配置を行い、樹木の健全な生育を促すとともに、生育環境の改善に努めることとしております。 (全体版P19)	E
65	5	歴史的建造物や記念碑は、どのように存置するか。	ご意見の歴史的建造物や記念碑は、現状のまま存置することとしております。	E
66	5	「甲突川千本桜」における「鹿児島らしさ」は何か。	ご意見として承ります。 なお、本プロジェクトでは、桜島や甲突川など本市を代表する都市景観を活かした桜の再配置することとしております。 (全体版P18)	E
67	5	夏限定でもよいので、家族で花火ができるようにしてほしい。	ご意見として承ります。	E
68	5	野良猫がたくさん住んでおり、早朝や夜に餌付けをしているグループがいる。市も看板などで対処しているのが見受けられるが、いまいち効果は薄い気がする。衛生的にも、引き続き何らかの対応が必要に思う。 (残ったエサでカラスも増加し、フンが多い。)	ご意見として承ります。	E
69	5	もしかすると管轄が違うのかもしれないが、上流の河川敷（中央駅近く、緑地より川に降りた下の部分）はきれいに整備されているのに、下流側（天保山橋近く）はほとんど整備されておらず降りれない状態である。安全上の都合でそういうのかもしれないが、もう少し統一してほしいと思う。	頂いたご意見につきましては、所管である鹿児島地域振興局へお伝えします。	E
70	5	持続可能な千本桜の一部に市民が育てる暖流桜は山桜を親として、接木で育成できる為、市民ボランティアでも可能うえ、参画市民が持続して次に渡していくことが可能になる。	ご意見として承ります。	E